

# 雨知らずの高山流鏝馬



**公**家に伝えられた神事としての性格を色濃く残す高山流鏝馬が10月15日、四十九所神社宮之馬場で執り行われました。

高山流鏝馬は、約900年の歴史を誇る伝統神事で、毎年中学2年生から射手を選出し、約1カ月半の練習を経て本番に臨むと

今年、全国的に見ても珍しい流鏝馬として知られています。今年度の射手は高山中学校2年の増田蓮くん。2年前に射手を務めた増田啓吾くんの弟です。そして騎乗する神馬は今年から新たに仲間に加わった若馬「流星号」。蓮くんにとつては、愛着のある神馬で、当初から流星号と一緒に大役を務めあげたいと話していました。観客からは初めての馬ということ、どのような走りをするのかと注目を集めていました。その流星号と共にいざ本番へと臨みます。

